



大空へ風船をいっせいに放つ日吉台小の児童ら

夢つなぐ風船リリース

各地から連絡相次ぐ

10月11日行われた日吉台小学校（亀田泰典校長）運動会の閉会式で、大空に放ったバルーン。子どもたちの夢がかない放たれた風船は、琵琶湖や伊吹、鈴鹿山系などを大きく超え、同小に愛知県はじめ各地から到達報告が相次ぎ、子どもたちを喜ばせている。

大津市教委が21年度に市内の小学校37校、中学校18校に対し、学校ごとに創意、工夫をこらした夢づくりプロジェクト

事業の実施を提唱。各小、中とも毎年趣向を凝らした事業を実施、日吉台小では、今年度、学校紹介や交流を求めるメッセージをつけた風船を放つバルーンリリースを計画。返事が来た地域の子どものたちとの交流やリリースする当日の天候や風速、風向きなどから飛んで行く方向や着地点などを予測、データを集め、学習に活かすことにした。

バルーンは、10月11日、同小で行われる運動会の

運動会で250個の風船大空へ

交流求め、日吉台小の子どもたち

夢プロ事業

閉会式で一斉に大空へ放つことを決め、運動会当日、グラウンド中央に運動会を終えた児童や来賓、保護者らが集合し、カウントダウンに合わせ準備した約250個のバルーンを一斉に大空へ。メッセージをつけた色とりどりの風船は、子どもたちの夢を乗せ舞い上がり、やがて空のかなたへ消えていった。

愛知や岐阜から到達続々

「こんな遠くまでびつくり」のメッセージも

「メッセージが届いた」。子どもたちによるバルーンリリースで、愛知県・春日井市や稲沢市など飛ばした風船につけたメッセージを見た人々からの連絡が日吉台小に相次いだ。同小によると、風船を飛ばした小学校運動会開催日から10日後の10月21日現在、到達連絡は8件に達し、子どもたちは、連絡のあった地点の市や町の位置を地図上に記録、風船が飛んでいった方向、当時の気象状況などを調べ学習に活かす

ほか、連絡をもらった人たちの市や町のようなことも勉強、交流などを計画している。

到達連絡があったのは愛知県春日井市、稲沢市、愛西市など4件、岐阜県海津市2件、滋賀県彦根市からの2件を合わせて計8件。運動会閉会式で放った風船は計250個。当初は、比叡の山を超え、南西の京都方面に姿を消したが、届いた地点を地図上でみると、日吉台小から東北東方向に集中していた。今のところ一番

遠いのは、春日井市から日吉台小がから直線で約110キロほど。稲沢市だと約93キロ、海津市では約80キロほどの距離があり予想されたより遠くまで飛んでいたことになる。

連絡は、風船に取り付けたメッセージカードにある2次元コードを読み込みウェブでの連絡がほとんど。春日井市の60代女性は「風船を拾ったのは、日本で三大ニュータウンとよばれる高蔵寺ニュータウンの一角で、まだ小さくなった風船について

いました。よくぞここまで遠くに届いてくれてありがとうの気持ちです。ほっこりとした気持ちになり、良いことが起こるようなワクワクに包まれました」と温かい気持ちのこもったメールを寄せてきた。岐阜県海津市の女性から「他の地域に興味を持つきっかけとなる良い取り組み」とお褒めの連絡や同じ滋賀県内の彦根市高宮町の女性からは「家の前に落ちていて調べてびっくりです。3人の子どもがおり、子どもたちと学校の動画をみました。全校でいろいろの取り組みをされとても楽しそう。貴重な体験をさせてもらえた」と感謝と喜びの気持ちを伝えてきた。

公民館利用者団体交流会

今年とはなだても鑑賞 OK !

日時：11月21日（金）
10時～15時
場所：日吉台公民館

【午前の部】	日吉台合唱団	
10時～	ティンカーベル	
10時30分～	アナベル（リコーダー演奏）	
11時～	棋友会（将棋）	（和 室1）
	茶湯同好会	（和 室2）
	西舞同好会第1・2部（会議室2）	
【午後の部】	サンテアム	
13時30分～	カエルの合唱	
14時15分～	開 会	
15時		

※小さな文化祭のような交流会です。
日吉台のみなさんのご来場をお待ちしています！

11月には和歌山のグループ活動
見学（無料）希望の方まで
見学ごの横断ロープウェイ乗込みで
見てください。大歓迎です！

利団協の発表会開催

小さな文化祭 利団交流会

日吉台公民館利用団体協議会（木村正俊会長、19団体）は、11月21日午前10時から午後3時まで、日吉台公民館全室を利用して「公民館利用団体交流会」を開催する。学区民の観覧を呼びかけている。

これまでの交流会を拡大させ、小さな文化祭のような交流会の開催を計画。一般学区民に日ごろの活動ぶりみてもらうことにした。

大津市総合防災訓練

11月9日 日吉台小グラウンド

大津市の市総合防災訓練が11月9日、日吉台小学校を主会場に学区周辺で展開される。

午前8時半、大津市を震源とするマグニチュード7・8の直下型地震が発生し、市北部地域で震度7を観測。その後の降雨で土砂災害発生危険が高まり、この地震と降雨で日吉台学区を中心に家屋の倒壊、同時火災の発生、ライフライン施設、道路の損壊、土砂災害等で多数の死傷者が発生したとの想定で実施する。

訓練は同日午前8時半開始し正午まで。主会場の日吉台小や学区周辺の訓練会場では、学区対策訓練、避難所体験訓練、炊き出し訓練、火災防御訓練、土砂災害救助訓練、ライフライン復旧訓練など大がかりな訓練を予定。防災展示ブースや体験コーナーなども設けられる。

訓練当日、会場周辺ではサイレンなどが吹鳴され、学区内では多数の訓練車両が走行するので事故などに遭遇しないよう住民に注意呼びかけがこなわれている。大雨、洪水、暴風警報が発表された場合は訓練中止となる。

歩道のある道では必ず歩道を歩きましょう

夜の歩行時は明るい色の服・反射材を

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行
日吉台学区
まちづくりセンター

発行責任者
濱崎 博

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書

学区ホームページ

ずっと・もっと
日吉台

待ち兼ねた秋、運動会たけなわ

学区民運動会で心地良い汗

佐藤市長、スターターで登場

学区自治連合会などで組織する実行委主催の第41回日吉台学区民大運動会が10月12日、日吉台小学校グラウンドで開催された。曇り空が広がり絶好の秋空とはならなかったが、参加者らはジャンボポール送り、男女混合リレーなど各丁対抗の得点種目に力と技を競い、待ちこがれた秋に気持ちの良い汗をかいていた。競技最初の玉入れでは、頭上のかごに思うように球が入らず四苦八苦する高齢者の姿も競技が進むにつれ体も心もヒートアップ。夏の暑さがぶり返したよう



リレー競技でスターターを務める佐藤大津市長

日吉台小の運動会

待ちどおしかった今年の秋の訪れ。日吉台小学校(亀田泰典校長)の運動会が10月11日開かれた。今年の運動会のスローガンは「今までの自分をこえて笑顔のバトンをつなげよう」。運動



会は、子どもたちの応援合戦でスタート。低、中、高学年ごとの徒競走や団体演技が繰り広げられ、グラウンドには、子どもたちの歓声が響いた。(組体操で見事な演技を見せる日吉台小の児童)

学区敬老のつどい開催



市街灯+私街灯

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください！

- ✓ 夜道も明るくて安心
- ✓ 泥棒に狙われにくい街づくり



・ 門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推奨されています。
・ 電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。



玉入れ競技に汗を流す参加者たち

学区の運動会の終盤、佐藤健司・大津市長が会場に姿をみせた。佐藤市長は、昼食休憩後の障害物競走の最中に会場に登場、競技の合間にマイクを手に激励のあいさつを行った。その後、佐藤市長は促され、運動会の華、男女混合対抗リレーのスターターに。佐藤市長が放つ号砲に各丁代表選手らが一斉にスタート、抜きつ抜かれつの迫力あふれる競技を展開、会場の雰囲気は最高潮。最後のアンカーがゴールラインを駆け抜ける瞬間、運動会会場に大きな歓声が響きわたった。

市街灯設置について回答

今年度の学区要望

令和7年度の学区要望で、大津市長は10月1日、日吉台学区が求めている要望について書面で回答を行った。今年度学区の要望は、市街灯新設に要望が集中、1南、2北、2南、4西の4自治会から市街灯新設要望が提出されていた。市街灯新設について市は、「街灯の設置に関しまして、各地域より多くのご要望をいただいております。交通量、周辺における既設灯や添架できる電柱等の状況を踏まえたうえで、すべての調査を終えた後、優先すべきものから設置しております」と設置についての基本姿勢を述べたうえで、「設置の際には、近隣にお住まいの皆様に光害等に対する理解を得ること」についての協力を求め「毎年度多くのご要望をい

たいです。万一新設を見送らざるを得なくなった場合は、ご連絡いたします」と記している。各自治会への個別の回答は次の通り

▽1南 (南高橋7)▽日吉台1丁目12-7 関西電力の柱(南高橋5)▽日吉台1丁目13-3 関西電力の柱(南高橋4)▽日吉台1丁目13-7 関西電力の柱(南高橋2) 公園灯につきましては、公園敷地内を照らすことを目的としております。そのため、道路や

ご要望箇所には、市街灯を添架できる関西電力柱やNTT柱が無く、専用柱を建柱する必要があります。建柱及び配線等が可能か調査し、設置の可否について検討してまいります。

▽2北 (南高橋7)▽日吉台1丁目12-7 関西電力の柱(南高橋5)▽日吉台1丁目13-3 関西電力の柱(南高橋4)▽日吉台1丁目13-7 関西電力の柱(南高橋2) 公園灯につきましては、公園敷地内を照らすことを目的としております。そのため、道路や

学区社会福祉協議会主催の令和7年度「敬老のつどい」が10月19日、日吉台市民センター大会議室で開かれた。写真は、「敬老のつどい」には、学区の80歳以上のお年寄りら90人が参加した。式典で呉屋之保・学区社会福祉協議会会長が「元気なお顔をみせていただきうれしく思います」とあいさつ、来賓として出席した佐藤健司・大津市長が「高齢社会にあつてどうやってみなさんの暮らしを支えてゆか課題。行政支援にあたり、高齢者のみなさんの知恵を貸していただきたい」と激励、お祝いの言葉を述べた。